

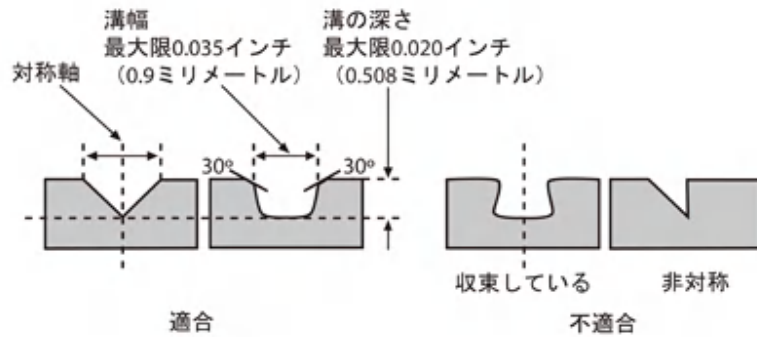
2010年規則—クラブフェースマーキング (付属規則II,5)

c.インパクトエアーマーキング

クラブのインパクトエリアに溝やパンチマークが施される場合、以下の規格に適合しなければならない。

①溝

- 溝は直線で平行でなければならない。
- 溝は単純で左右対称の横断面をもたなければならない、収束しない側面をもたなければならない (図XI参照)。

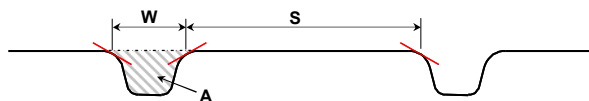


図XI

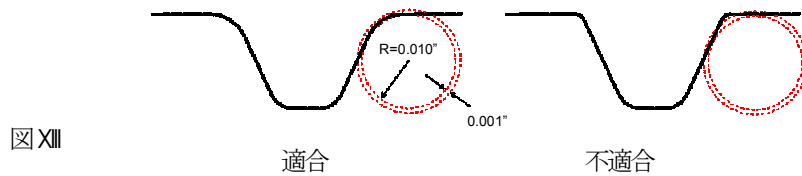
- 溝の幅、間隔、横断面はインパクトエリアを通して一貫していなければならない。
- 溝の幅(W)は、30度測定法(R&Aテスト内規)で測り、0.035インチ(0.9ミリメートル)以下でなければならない。
- 隣接する溝の端と端の間隔(S)は、溝の幅の3倍以上、かつ0.075インチ(1.905ミリメートル)以上でなければならない。
- 溝の深さは0.020インチ(0.508ミリメートル)以下でなければならない。
- *ドライビングクラブ以外のクラブについて、溝の断面積(A)を溝のピッチ(W+S)で割った値は0.0030平方インチ/インチ(0.0762平方ミリメートル/ミリメートル)以下でなければならない(図XII参照)。

$$\frac{A}{W + S} \leq 0.0030 \text{ in}^2 / \text{in}$$

図XII



- 溝は鋭い縁や盛り上がったへりをもっていない。
- *ロフト角が25度以上のクラブについて、図XIIIで示されているように測定されたときに、溝の縁は0.010インチ(0.254ミリメートル)以上、0.020インチ(0.508ミリメートル)以下の有効半径を有する実質的な円形状でなければならない。有効半径における0.001インチ(0.0254ミリメートル)以内の偏差は認められる。



(i)パンチマーク

- パンチマークの最大寸法は0.075インチ(1.905ミリメートル)以下でなければならない。
- 隣接するパンチマークとパンチマークの間隔(あるいはパンチマークと溝の間隔)は、中心から中心までを測って、0.168インチ(4.27ミリメートル)以上でなければならない。
- パンチマークの深さは0.040インチ(1.02ミリメートル)以下でなければならない。
- パンチマークは鋭い縁や盛り上がったへりをもっていない。
- *ロフト角が25度以上のクラブについて、図XIIIで示されているように測定されたときに、パンチマークの縁は0.010インチ(0.254ミリメートル)以上、0.020インチ(0.508ミリメートル)以下の有効半径を有する実質的な円形状でなければならない。有効半径における0.001インチ(0.0254ミリメートル)以内の偏差は認められる。

注1：アスタリスク(*)のついた上記の溝とパンチマークの規格は2010年1月1日以降に製造される新しいモデルのクラブにだけ適用される。

注2：2010年1月1日から効力を有し、委員会は競技の条件でプレーヤーの使用するクラブがアスタリスク(*)のついた上記の溝とパンチマークの規格に適合していなければならないと要求することができる。この条件はエ

キスパートプレーヤーの最も高いレベルの競技に対してだけ採用されることを勧める。

d. 装飾的なマーキング

インパクトエリアの中心を示す意匠を各辺 0.375 インチ(9.53 ミリメートル)の正方形の範囲内に 1 つ設けることができるが、そのような意匠は球の動きに不当に影響を与えるものであってはならない。装飾的なマーキングはインパクトエリアの外側であれば認められる。

e. 非金属クラブのフェースマーキング

上記の規格は、フェースのインパクトエリアが金属よりも硬度が少ない材質からなり、ロフト角が 24 度以下の木製のクラブには適用されないが、球の動きに不当に影響を与える可能性のあるマーキングは禁止される。

f. パターフェースマーキング

パターフェースにマーキングが施される場合、そうしたマーキングは鋭い縁や盛り上がったへりをもっていない。インパクトエリア内の粗さ、材質とマーキングに関しての規格はパターには適用されない。